

# 菓業食品新聞

The Journal of confectionery



URL : <https://okashi.info>

e-mail : [ks-news@okashi.info](mailto:ks-news@okashi.info)

発行所 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町11-38-618

TEL 06(6385)1717 FAX06(6385)0150

株式会社 菓業食品新聞社

支社・京都

発行人 狩野 智子 一か年 8,800円

バラエティ豊かなラインナップ

## チョコエッグ

本物のおいしさ

## セコイヤチョコレート

フルタ製菓株式会社

〒544-0023 大阪市生野区林寺6-7-22

### 男女、年齢3歳階級別子どもの数

(2023年4月1日)

人口 (万人)	男女計 男女	未就学の乳幼児(0~5歳)		小学生(6~11歳)		中学生 (12~14歳)		
		0~2歳	3~5歳	6~8歳	9~11歳	(12~14歳)		
1435	735	510	243	604	296	308	321	
735	261	125	137	309	152	158	164	
700	249	119	130	295	144	151	156	
総人口に占める割合(%)	11.5	4.1	2.0	2.1	4.9	2.4	2.5	2.6

2023年4月1日、子どもの数を年齢3歳現在における子どもの階級別にみると、12~14歳(15歳未満人口)以下、歳が321万人(総人口に占める割合2.6%)は、前年に比べ30万人少ない1435万人(9.1歳が308万人、1982年から42年(同2.5%)、6~8歳連続の減少となり、過去、歳が296万人(同2.1%)、最少となった。男女別で4%、3~5歳が26%は、男子が735万人、7万人(同2.1%)、女子が700万人となつており、男子が女子より35万人多く、女子100人に対する男子の数(人口性比)は105.0(前代(6~11歳)、未就学の乳幼児(0~5歳)の3つの区分で見ると、それぞれ321万人(同割合2.6%)、604万人(同4.9%)、510万人(同4.1%)となつている。

子どもの割合(総人口に占める割合)は、1950年には総人口の3分の1を超えていたが、第1次ベビーブーム期(1947~1949年)の後、出生児数の減少を反映して低下を続け、1965年に総人口の約4分の1となった。その後1970年代まで低下が続いた子どもの割合は、第2次ベビーブーム期(1971~1974年)の出生児数の増加によってわずかに上昇したものの、1975年から再び

小林製菓(株)の「紅麴」を含む健康食品(サプリメント)における健康被害について、4月7日の時点で5人が死亡、のべ212人が入院したと発表されている。該当する3品は「機能性表示食品」で、「悪玉コレステロールを下げる」と書かれていた。現在でも調査が継続中で、製品のロットで、ある種の青カビから発生する「アレルゲン」という物質が確認されたが、原因物質なのかまだ明らかになつていない。

3月29日、厚生労働省はホームページで、同社な反応を受けた。「当社が直接紅麴原料を卸している52社と、そこから紅麴原料を入手している1社」について、4月7日の73社を公表した。4月の措置をとったにも拘らず、消費者からの問い合わせが殺到したメーカーもあつた。この度の事件で、機能性表示食品制度の在り方について見直しを検討される可能性がある。また、食品添加物の紅麴色素は熱にも酸にも安定している見直しが見直しが検討される向きとなる可能性がある。

3月29日、厚生労働省はホームページで、同社な反応を受けた。「当社が直接紅麴原料を卸している52社と、そこから紅麴原料を入手している1社」について、4月7日の73社を公表した。4月の措置をとったにも拘らず、消費者からの問い合わせが殺到したメーカーもあつた。この度の事件で、機能性表示食品制度の在り方について見直しを検討される可能性がある。また、食品添加物の紅麴色素は熱にも酸にも安定している見直しが見直しが検討される可能性がある。

3月29日、厚生労働省はホームページで、同社な反応を受けた。「当社が直接紅麴原料を卸している52社と、そこから紅麴原料を入手している1社」について、4月7日の73社を公表した。4月の措置をとったにも拘らず、消費者からの問い合わせが殺到したメーカーもあつた。この度の事件で、機能性表示食品制度の在り方について見直しを検討される可能性がある。また、食品添加物の紅麴色素は熱にも酸にも安定している見直しが見直しが検討される可能性がある。

3月29日、厚生労働省はホームページで、同社な反応を受けた。「当社が直接紅麴原料を卸している52社と、そこから紅麴原料を入手している1社」について、4月7日の73社を公表した。4月の措置をとったにも拘らず、消費者からの問い合わせが殺到したメーカーもあつた。この度の事件で、機能性表示食品制度の在り方について見直しを検討される可能性がある。また、食品添加物の紅麴色素は熱にも酸にも安定している見直しが見直しが検討される可能性がある。

3月29日、厚生労働省はホームページで、同社な反応を受けた。「当社が直接紅麴原料を卸している52社と、そこから紅麴原料を入手している1社」について、4月7日の73社を公表した。4月の措置をとったにも拘らず、消費者からの問い合わせが殺到したメーカーもあつた。この度の事件で、機能性表示食品制度の在り方について見直しを検討される可能性がある。また、食品添加物の紅麴色素は熱にも酸にも安定している見直しが見直しが検討される可能性がある。

3月29日、厚生労働省はホームページで、同社な反応を受けた。「当社が直接紅麴原料を卸している52社と、そこから紅麴原料を入手している1社」について、4月7日の73社を公表した。4月の措置をとったにも拘らず、消費者からの問い合わせが殺到したメーカーもあつた。この度の事件で、機能性表示食品制度の在り方について見直しを検討される可能性がある。また、食品添加物の紅麴色素は熱にも酸にも安定している見直しが見直しが検討される可能性がある。

### 総務省統計

## 15歳未満、総人口の11.5%

## 子どもの割合、49年連続で低下

## 2023年15歳未満の子どもの数

## 1435万人、30万人減

42年連続減少

### 男女別子どもの数

子どもの数 (万人)	2023年 4月1日現在		2022年 4月1日現在		対前年 増減数
	男女計	人口性比	男女計	人口性比	
1435	105.0	1465	105.0	-30	
735	105.0	750	105.0	-15	
700	105.0	714	105.0	-15	
総人口 (万人)	12447	12507	12507	-60	
6051	94.6	6080	94.6	-28	
6395	94.6	6428	94.6	-32	
総人口に占める 子どもの割合(%)	11.5	11.7	11.7	-0.2	

15歳未満の子どもの数は、2023年4月1日現在、1435万人(前年比0.3%減少)となつた。子どもの数が100万人を超えてからは、東京(前年比0.3%減少)を除く2都府県となった。子どもの割合が最も低となったのは、秋田県で9.3%、次いで滋賀県(10.2%)、佐賀県(10.2%)、北海道(10.3%)となつた。最も少ないのは秋田県で9.3%、次いで滋賀県(10.2%)、佐賀県(10.2%)、北海道(10.3%)となつた。

都道府県別の15歳未満の割合について、2022年10月1日の統計によると、前年に比べ47都府県で減少となつた。子どもの数が100万人を超えてからは、東京(前年比0.3%減少)を除く2都府県となった。子どもの割合が最も低となったのは、秋田県で9.3%、次いで滋賀県(10.2%)、佐賀県(10.2%)、北海道(10.3%)となつた。

都道府県別の15歳未満の割合について、2022年10月1日の統計によると、前年に比べ47都府県で減少となつた。子どもの数が100万人を超えてからは、東京(前年比0.3%減少)を除く2都府県となった。子どもの割合が最も低となったのは、秋田県で9.3%、次いで滋賀県(10.2%)、佐賀県(10.2%)、北海道(10.3%)となつた。

都道府県別の15歳未満の割合について、2022年10月1日の統計によると、前年に比べ47都府県で減少となつた。子どもの数が100万人を超えてからは、東京(前年比0.3%減少)を除く2都府県となった。子どもの割合が最も低となったのは、秋田県で9.3%、次いで滋賀県(10.2%)、佐賀県(10.2%)、北海道(10.3%)となつた。

都道府県別の15歳未満の割合について、2022年10月1日の統計によると、前年に比べ47都府県で減少となつた。子どもの数が100万人を超えてからは、東京(前年比0.3%減少)を除く2都府県となった。子どもの割合が最も低となったのは、秋田県で9.3%、次いで滋賀県(10.2%)、佐賀県(10.2%)、北海道(10.3%)となつた。

都道府県別の15歳未満の割合について、2022年10月1日の統計によると、前年に比べ47都府県で減少となつた。子どもの数が100万人を超えてからは、東京(前年比0.3%減少)を除く2都府県となった。子どもの割合が最も低となったのは、秋田県で9.3%、次いで滋賀県(10.2%)、佐賀県(10.2%)、北海道(10.3%)となつた。

青春とは  
やっぱりあまずばフルテネー!

NEW NEW

イタリアングレープ味 イタリアンレモン味  
ヨンジューガムロ 楊枝豆風味  
ソーダ味

ブルボン fettuccine gummi

※画像はイメージです。